

番号	措置名	交付金事業の名称		
6	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町		
交付金事業実施場所	(小学校)鏡野町古川、円宗寺、下森原、香々美、真経、上齋原、富西谷 (中学校)鏡野町竹田			
交付金事業の概要	<p>小学校臨時職員(講師11名・校務員7名・事務員1名)、中学校臨時職員(講師7名・事務員兼校務員1名)、の 人件費10ヶ月分。 平成28年4月に旧町村単位に設置していた町立中学校4校を1校に統合しましたが、町内に点在する公共施 設を維持運営していくためには依然として多額の経費が必要であり、本交付金を充当し施設を継続して運営す ることは、住民福祉の向上のため大変重要なことでもあります。 また、臨時講師は専門的な教科の講師であり、学校基本法による教員の定数に上乗せしての臨時講師のた め、より生徒に充実した授業を行なうことができます。</p>			
総事業費	44,535,495	交付金充当額	36,000,000	
		うち文部科学省分	36,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果目標	町立小学校及び町立中学校の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、子どもたちが良好な環境 で義務教育を受けることができるとともに、電源立地地域である当町の地域振興に寄与することが期待できま す。さらに、当事業による小学校の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電 力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。			
交付金事業の成果指標	上記、成果目標を達成するためには、発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資するため実施する当事業 の定量的な成果指数として、児童及び生徒の保護者「満足度アンケート」を行い、7割以上の施設利用満足度を 設定します。			
交付金事業の成果及び評価	小中学校の児童及び生徒の保護者に「満足度アンケート」を行い、「学校に行くのを楽しんでいると思 いますか」の質問に対し、小学校では「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が91.6%であり、中学校では「そう思 う」「どちらかといえば、そう思う」が89.9%で、子どもたちが良好な環境で義務教育を受けることができました。 今後も引き続き、子どもたちが良好な環境で義務教育を受けることにより、より高い満足度が期待でき、ひいて は地域社会のさらなる発展と住民福祉の向上が期待できます。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	小学校臨時職員	雇用	-	30,218,095
	中学校臨時職員	雇用	-	14,317,400
	計			44,535,495
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H34	